

白神山地巡視日誌

- 【巡視箇所】 小岳
【巡視日】 令和元年 9月19日（木）
【巡視者】 谷藤・山内・齊藤

当センターでは、小岳山頂付近に群生しているハイマツの葉を食害するマツノクロホシハバチの発生状況について、毎年秋に幼虫の発生時期に合わせて調査をしています。昨年は9月27日に調査を行いハバチは確認されませんでした。今シーズンは果たしてどうなのか、9月19日に現地調査に行ってきました。



登山道脇のブナ林
紅葉するのが楽しみです。



山頂で一息入れながらもハバチ調査に余念がない2人



本州最低標高のハイマツ群落

ハバチの幼虫は見つかりませんでした。

登山道から続くブナ林はまだ青々としていますが、1時間程登り山頂付近に到着すると、ミネザクラ等は少し赤みがかってきていて秋の訪れを感じます。調査するハバチの幼虫は黄色く集団で食害するので遠くからでも目立って分かるはずだ！と目を凝らして辺りを見渡しますが、今年も天敵が活躍したのでしょうか、ハバチはいませんでした。これで2017年以降目立った食害は発生していません。



枝が管理棟に覆いかぶさっています。



所長自ら切り落とします。



スッキリとした管理棟



小岳山頂より岩木山

中々姿を見せてくれない岩木山ですがこの日は弘前の街並みまで確認できました。

無事に調査を終えて下山した後、当センターで管理している登山口の巡視管理棟の後方に生えているヤナギの枝が伸びて管理棟に当たっている状態だったので、枝を切り落とし安全を確保しました。



山頂付近の赤く染まり始めたミネザクラ

粕毛川源流部のブナ林

今年もハバチの幼虫によるハイマツへの食害が無くホッとしています。これからの紅葉シーズンは遺産地域が見渡せる小岳へぜひお越し下さい。(齊藤)